

目次

発刊のご挨拶	2
行歌・行章・行旗・ブランド	4
肥後銀行企業理念／九州フィナンシャルグループ理念体系	6
口絵	8
創造的復興から地域価値共創へ	

巻頭特集

巻頭特集1 肥後銀行創立100周年記念事業	32
巻頭特集2 九州フィナンシャルグループ 創立10周年記念事業	47
巻頭特集3 写真で振り返る肥後銀行のあゆみ	48

沿革編

序章 創立前史 [～1925(大正14)年]	70
第1節 明治時代前期における 銀行の創設と発展	72
1. 明治維新時の熊本における産業の進展	
2. 通貨制度の制定	
3. 国立銀行・日本銀行の設立と普通銀行の勃興	
4. 熊本県内における銀行の生成・発展	

第2節 明治時代後期における 銀行の増設	77
1. 日清・日露両戦争による好況・不況	
2. 熊本県内の経済・金融情勢 〈コラム〉熊本経済の救済と企業振興に多大な 貢献をした安田銀行	
第3節 大正時代における銀行の発達	79
1. 大正時代の経済・金融情勢	
2. 熊本県内の経済・金融情勢	
第4節 当行創立に至る背景と前身銀行	82
1. 当行創立の経緯	
2. 前身銀行の沿革	

第1章 肥後協同銀行創立～終戦 [1925(大正14)年～1945(昭和20)年]	85
概況	86
第1節 肥後銀行の誕生	88
1. 肥後協同銀行の発足	
2. 肥後銀行と改称	
第2節 国内および熊本県内の 経済・金融情勢	90
1. 昭和初期の経済・金融情勢 (1)国内の情勢 (2)熊本県内の情勢	

2. 戦時下の経済・金融情勢 (1)国内の情勢 (2)熊本県内の情勢	
--	--

第3節 創立から終戦までの当行経営	96
1. 経営体制の推移	
2. 一県一行主義による合同 〈コラム〉本市唯一の本店銀行として尽力 —安田善四郎の挨拶—	
3. 業務機構の変遷ならびに店舗網の整備強化	
4. 戦時下の預金業務と熊本県金庫の吸収	
5. 職場における戦時体制 〈コラム〉戦時中の開店模様 —京町出張所の営業日誌から—	
6. 業績の推移と決算期の変更	

第2章 戦後復興時代の肥後銀行 [1945(昭和20)年～1955(昭和30)年]	103
概況	104

第1節 戦後復興から経済自立へ	106
1. 戦後復興期の経済情勢 (1)戦後のインフレと経済再建 (2)熊本県内の経済情勢	
2. 戦後復興期の金融情勢 (1)救国貯蓄運動 (2)金融制度の整備 (3)熊本県内の金融事情	

第2節 戦後復興期における当行経営	113
1. 第6代川田頭取の就任	
2. 金融再建整備の実施	
3. 業務の拡大 〈コラム〉練兵町の今昔 ■落成式での川田米三頭取挨拶	
4. 預金増強運動の展開	
5. 業務合理化の推進	
6. 人事施策の展開	
7. 業績の推移	

第3章 高度成長時代の肥後銀行 [1955(昭和30)年～1975(昭和50)年]	121
--	-----

概況	122
第1節 経済の正常化と高度成長	124
1. 高度成長とともに進展 (1)岩戸景気と国民所得倍増計画 (2)いざなぎ景気からドルショックへ (3)オイルショックの発生	
2. 金融行政の転換 (1)金融二法の制定 (2)金融行政の効率化と国際化への進展 (3)地方銀行の預貸金残高が好調に推移	

第2節 高度成長時代の 県内経済・金融事情	127
--------------------------	-----

1. 県内における経済動向
 (1)新しい50万都市を目指して
 (2)工業化の進展
 (3)生活およびレジャー関連産業の発展
 (4)交通網の整備
 —高速自動車道時代の幕開け
 (5)商業、農業の発展

2. 県内における金融事情

第3節 高度成長期における当行経営 … 130

1. 川田会長と横山頭取の就任

2. 増資と自己資本の充実

3. 業務機構の整備と店舗政策の展開

4. 個人市場深耕路線と預金増強運動
 (1)個人市場深耕路線の推進
 (2)預金目標達成運動の推進
 (3)新種預金などの取扱い

5. 融資の推進

6. 業務の拡大

7. 事務の合理化と機械化
 (1)営業店事務の合理化
 (2)為替事務の合理化
 (3)事務機械化の進展

8. 人事諸制度および福利厚生

9. 創立記念日と地域社会への貢献

10. 業績の推移

**第4章 安定成長時代の肥後銀行
 [1975(昭和50)年～1985(昭和60)年]
 …………… 141**

概況 …………… 142

第1節 安定成長経済の定着…………… 144

1. オイルショックから円高不況へ

2. 金融革命の始まり

第2節 安定成長下の県内経済・金融事情 146

1. 県内における経済動向
 (1)産業構造の高度化と産業の動向
 (2)熊本テクノポリス開発構想
 (3)熊本・明日へのシナリオ
 (4)県内における金融事情

第3節 安定成長時代の当行経営 …………… 148

1. 横山会長と長野頭取の就任

2. 安定成長時代の主要経営施策

3. 環境変化に対応した体制づくり

4. 自己資本の充実と株式上場

5. 地域に密着した店舗網の展開

6. 預金残高1兆円達成と融資推進策
 (1)1兆円銀行への軌跡
 (2)地域への積極的な融資推進策

7. 金融の自由化・国際化の進展
 <コラム>国際的な銀行へ仲間入り
 ～海外コルレス業務開始

8. 総合オンラインの推進と事務の効率化

9. 人事・厚生諸施策と人材育成
 (1)人事諸制度の制定
 (2)人材育成のための諸施策
 (3)福利厚生の充実

10. 関連会社の設立
 (1)業務の大量・複雑化に対応

(2)ベンチャーキャピタルの設立

11. 地域社会とともに歩む
 (1)地域密着運動の展開
 (2)経営相談所の設立
 (3)地域社会への奉仕
 (4)創立60周年記念事業

12. 業績の推移

**第5章 金融自由化・国際化時代の
 肥後銀行
 [1985(昭和60)年～1995(平成7)年]
 …………… 161**

概況 …………… 162

第1節 バブル景気の展開と歪み…………… 164

1. 内需主導型経済と産業構造の転換

2. バブル経済の形成から崩壊へ

3. 足踏み状況が続ける日本経済

第2節 最終局面に入った金融自由化 … 166

1. 金融自由化の進展
 (1)制度面での自由化
 (2)金利面の自由化
 (3)激変する金融環境

第3節 順調な歩みが続ける熊本県経済… 168

1. 拡大する熊本県経済
 (1)農業・製造業・商業の現状
 (2)整備が進む交通アクセス
 (3)熊本県総合計画の策定
 (4)60万人都市・熊本市の誕生

2. 県内における金融環境の変化

**第4節 金融自由化・国際化時代の
 当行経営 …………… 172**

1. 長野会長と稲垣頭取の就任
 ■稲垣頭取の就任挨拶

2. 第2次～第4次中期経営計画の策定
 (1)第2次中期経営計画「トリプルCプラン」
 の策定
 (2)第3次中期経営計画「Project'91」の策定
 (3)第4次中期経営計画「ABCプラン」の策定

3. 自由化・国際化時代の機構改革
 (1)中期経営計画目標達成に向かう機構改革
 (2)環境の変化に即応した機構改革
 (3)各種委員会の設置

4. 自己資本の充実

5. 顧客の利便性を考慮した店舗展開
 (1)小規模店舗による展開
 (2)支店昇格運動の実施
 (3)店舗外現金自動設備の拡充

6. 預金増強運動と新種商品の開発
 (1)各期の営業推進策
 (2)預金残高2兆円達成
 (3)キャラクターの導入
 (4)新規業務の取扱開始

7. 融資重点施策の展開
 (1)融資増強運動の展開
 (2)延滞解消運動
 (3)県および市町村の制度融資
 (4)新短期・長期プライムレートの導入
 (5)融資事務合理化策

8. 資金証券業務の展開
 (1)取扱業務の拡大と金融派生商品市場
 (2)自由化への組織的対応

(3)顧客営業としての証券業務
(4)変容した資金調節機能

9. 国際業務の拡充
(1)急速に伸びた外国為替取扱高
(2)海外コルレス網ならびに外国為替取扱店舗網の充実
(3)初の海外拠点と貿易投資相談所の開設
(4)その他の国際業務

10. 戦略的な人材育成と福利厚生の実施
(1)中期経営計画に盛り込まれた人材育成策
(2)人事関連の諸施策
(3)福利厚生施設の充実
(4)行友会活動

11. 第3次オンラインシステムの展開と新種業務の開発
(1)第3次オンラインシステムの展開
(2)エレクトロニックバンキングへの取り組み
(3)現金自動機設備機能の充実
(4)事務の合理化ならびに効率化

12. 関連会社の設立

13. 地域貢献活動
(1)地域への奉仕活動
(2)財団の設立
(3)地域社会への資金などの協力
(4)創立70周年記念事業の展開
■稲垣頭取の式辞

14. 業績の推移

第6章 デフレ経済と金融変革時代の肥後銀行
[1995(平成7)年～2005(平成17)年]
…………… 193

概況 …………… 194

第1節 日本経済再生への道…………… 196

1. 財政構造改革から日本列島総不況
2. 深刻化する景気とデフレ対策
3. 「聖域なき構造改革」の進展と景気回復への足取り

第2節 激動と変革の金融業界…………… 198

1. 金融システムの回復に向けて
(1)住専問題への対応と金融不祥事の表面化
(2)「日本版ビッグバン」の推進
(3)相次ぐ金融機関の経営破綻
〈コラム〉「日本版金融ビッグバン」とは
(4)経営基盤強化に向けた金融再編

2. 金融行政機構の改革
(1)日本銀行法の改正
(2)金融庁の発足(財政・金融行政の分離)

3. 金融機能の再生と経営基盤安定に向けて
(1)金融再生プログラムの策定
(2)リレーションシップバンキングの機能強化
(3)金融改革プログラムの策定

4. 新局面を迎えた金融界
(1)新たな銀行形態の誕生
(2)危機管理体制の強化

第3節 熊本県における経済および金融情勢…………… 203

1. 人口の推移と県内産業の動向
(1)人口の推移と動態
(2)県内産業の動向

2. 県内総生産と県民所得

3. 進展する平成の大合併

4. 九州新幹線部分開業および総合交通体系の整備

5. 規制緩和の進展による金融業務の多様化

6. システムネットワークの構築

7. 県内預貸金残高と店舗数の推移

第4節 金融激動・変革時代の当行経営… 208

1. 小栗頭取の就任
■小栗頭取の挨拶要旨

2. 収益力強化を目指した中期経営計画の策定
(1)「中期経営計画'97」の策定
(2)「新世紀第1次中期経営計画」の策定
(3)「新世紀第2次中期経営計画」の策定

3. 経営基盤の強化
(1)自己資本比率の充実
(2)不良債権処理と企業再生
(3)リスク管理体制の構築
(4)適格な情報開示

4. 金融変革時代に対応した機構改革

5. 効率的な店舗展開とATMのネットワークサービス

6. 新たな商品・サービスの企画開発
(1)預金
(2)貸出
(3)その他の新種商品とサービス

7. 融資重点施策の展開
(1)融資増強運動の展開
(2)延滞解消運動
(3)融資事務合理化策

8. 資金証券業務と国際業務の拡充
(1)資金証券業務の拡充
(2)国際業務の拡充

9. 効果的な人材育成と福利厚生制度
(1)人材育成
(2)福利厚生制度の充実

10. システム開発とIT化の進展
(1)EBの進展
(2)みちのく銀行、山陰合同銀行との3行システム共同化
(3)その他IT化の進展

11. 関連会社の設立とアウトソーシング
(1)肥後ベンチャーキャピタル(株)の設立
(2)肥後事務サービス(株)の設立

12. 多方面にわたる地域貢献
(1)「肥後の水資源愛護賞」顕彰と当行の環境保全活動
(2)地域社会への資金などの協力・文化支援活動

13. 創立80周年記念事業の展開
(1)創立80周年記念事業の基本方針
(2)主な創立80周年記念事業
(3)創立80周年記念式典
■小栗頭取の挨拶

14. 業績の推移
〈コラム〉デザインでたどる肥後銀行の変遷

第7章 世界金融危機と長期景気回復期の肥後銀行
[2005(平成17)年～2015(平成27)年]
…………… 227

概況 …………… 228

第1節 世界金融危機の発生と脱却 …… 230

(3) 県内総生産と県民所得				(5) 社会福祉
(4) 県内産業の動向				(6) その他
2. 県政・市政の新たな胎動 …………… 296				第8節 近10年の業績 …………… 436
(1) 蒲島県政の迅速で機動的な対応				1. 業績の推移
(2) 大西市政下、熊本市で2大再開発事業				2. 次の100年に向けて
(3) 新たな胎動				「意志ある未来」に向けた経営
3. 相次ぐ自然災害とパンデミック …… 302				創立100周年に寄せて …………… 440
第4節 パラダイムシフト下の当行経営 … 304				名誉顧問 小栗宏夫…………… 440
1. うるおいある未来のために。 …… 304				顧問 甲斐隆博…………… 442
(1) 九州フィナンシャルグループの誕生と「第二の創業」				100年後も残したい熊本の景色 …… 448
■経営統合で、お客様との価値共創に取り組む				
■お客様第一主義の実践こそが第二の創業				
(2) 頭取の交代				
■お客様や地域に高く評価される銀行グループに				
■現場重視のチームワーク経営				
(3) 当行をめぐる動き				
2. 「第二の創業」から「新創業」へ～経営品質の向上に向けて～ …… 310				
(1) 「協働ステージ」における各中期経営計画(2015.4.1～2018.3.31)				
(2) 「融合ステージ」における各中期経営計画(2018.4.1～2021.3.31)				
(3) 「共創ステージ」における各中期経営計画第1章(2021.4.1～2024.3.31)				
■「成り行きの未来」ではなく「意志のある未来」を創る				
(4) 「共創ステージ」における各中期経営計画第2章(2024.4.1～2027.3.31)				
3. 日本経営品質賞受賞 …………… 320				
(1) 審査結果と授賞式				
■経営品質元年				
〈コラム〉日本経営品質賞とは				
(2) 経営品質報告書のフィードバック				
〈コラム〉頭取と行員との対話会の実施(2022年5月実施)				
4. コーポレート・ガバナンス …………… 325				
(1) コーポレート・ガバナンス体制の概要				
(2) 組織の変遷				
5. コンプライアンスへの取り組み …… 332				
(1) コンプライアンス基本方針と運営体制				
(2) コンプライアンスへの取り組みについて				
6. リスク管理体制の充実 …………… 336				
(1) リスク管理の基本方針と運営体制				
(2) リスク管理の状況				
7. ITベースの業務運営と業務品質向上への取り組み …………… 341				
(1) ITベースの業務運営				
(2) 事務品質と生産性の向上				
8. 営業推進 …………… 354				
(1) 地域総合金融機能の深化				
(2) 地域産業振興機能の拡充				
(3) 営業態勢の強化について				
(4) 多彩な商品サービスの導入				
9. グループ戦略および新規事業への取り組み …………… 381				
(1) 当行グループの主要構成と事業内容				
(2) 地域の課題解決に資する新規事業への取り組み				
10. 働きやすさの追求と人材の育成 … 387				
(1) 「働き方改革」への取り組み				
(2) 女性活躍推進への取り組み				
(3) 健康経営への取り組み				
(4) 人的資本経営を踏まえた行員価値向上				
(5) 人権と多様性の尊重への取り組み				
11. 広報戦略 …………… 398				
(1) さまざまなステークホルダーに向けたコミュニケーション戦略				
(2) 行内コミュニケーション充実にに向けた取り組み				
(3) 当行・KFGグループのブランド価値向上への取り組み				
第5節 持続可能な地域社会の実現に向けた取り組み …………… 402				
1. サステナビリティ推進の取り組み				
(1) 持続可能性向上に向けた態勢づくり				
(2) SDGs関連イニシアティブへの賛同				
(3) ESG投融資の推進				
(4) サステナブル預金の推進				
(5) 地域課題解決への取り組み				
(6) サステナビリティ推進に係る外部評価				
2. 気候変動への対応				
(1) 脱炭素への取り組み				
(2) 気候変動関連イニシアティブへの関与				
第6節 デジタルトランスフォーメーション(DX)への取り組み …………… 418				
1. 当行のDX推進				
(1) DXで目指す姿				
■未来は創るものである				
(2) DXに向けた環境整備				
(3) デジタル戦略				
2. 地域のDX推進				
(1) 地域のDX推進施策				
(2) DX推進に関する連携協定				
第7節 地域社会への貢献活動 …………… 426				
1. 環境保全活動				
(1) 地下水保全活動				
(2) 環境保全啓発活動				
(3) 企業活動				
2. 社会貢献活動				
(1) 文化芸術振興				
(2) スポーツ振興				
(3) ファイナンシャル・ウェルビーイング(金融リテラシー向上支援)				
(4) 地域行事への参加				

特集 創造的復興への貢献

第1節 熊本地震の記録 …………… 458
第2節 令和2年7月豪雨の記録 …… 466
第3節 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)感染拡大への対応 …… 472

未来編

100周年記念頭取インタビュー …………… 482
100周年記念特別座談会
これからの肥後銀行 …………… 488
～100年のその先へ 熊本の未来と今後の発展を考える～
木村敬熊本県知事、大西一史熊本市長、小川久雄熊本大学長、当行頭取笠原慶久

資料編

会社概要…………… 501
 役員…………… 502
 定款…………… 504
 機構図…………… 506
 店舗・施設一覧 …… 508
 資本金の推移…………… 535
 従業員数の推移…………… 536
 従業員の男女構成比推移…………… 537
 沿革図…………… 538
 歴代頭取…………… 540
 役員の変遷…………… 542
 各本店歴代主管者一覧…………… 552
 本部機構の変遷…………… 574
 貸出金の業績別構成…………… 585
 業績の推移…………… 586
 個別財務諸表…………… 588
 拠点数の推移…………… 596
 事務服の変遷…………… 600
 行友会部活動…………… 602
 行用車の変遷…………… 603
 チラシ・ポスターの変遷 …… 604
 PR品の変遷 …… 605
 美術展・公演の協賛 …… 606
 肥後の里山ギャラリー展覧会 …… 610
 カレンダーの変遷 …… 612
 通帳・証書・手形・小切手・カードの変遷 …… 613
 事務機器の変遷…………… 614

年表 …… 615

参考文献等

あとがき

【肥後銀行100年史 編纂基本方針】

- (1) 創立100周年の感謝の気持ちを伝え、従業員の絆、地域との共生に資するものとする。
- (2) 創業の精神、企業理念、パーパスを再確認し浸透させる。
- (3) 従業員の誇りや帰属意識を醸成し、エンゲージメントを高める。
- (4) 当行の歴史、史実を正確に記録、継承し、活用する。

凡 例

- 1. 本文の記述は、創立前史から100周年記念日を含む2025年12月31日迄とし、データ・人事情報などは2025年7月31日時点、財務諸表等の計数は2025年3月31日迄とした。
- 2. 沿革編については、序章から第7章迄は『肥後銀行八十年史』、『肥後銀行90年史』をベースに、『肥後銀行史(35年史)』『肥後銀行五十年史』『激動の50年代10年の歩み(60年史)』『肥後銀行七十年史』なども参考に90年を振り返り、記述した。第8章は、直近10年に焦点をあて経営の視点から記述し、直近10年の重大事項である熊本地震、令和2年7月豪雨、新型コロナウイルス感染症への対策については、「創造的復興への貢献」として別途特集を設けて詳述した。
- 3. 年表については、2015年までは略年表とし、直近10年は詳述した。
- 4. 用語は、原則として常用漢字・現代かなづかい・送りがなを使用した。慣用語・金融用語などこれに準拠しない場合もある。
- 5. 人名については、歴史的記述の通例に従い、既に故人となられた方については、敬称を省略した。
- 6. 年号については、原則として西暦を使用した。必要に応じて和暦を併記した。
- 7. 本文中の諸計数は、原則として切捨てとした。
- 8. 資料の出所は、できるだけ注記したが、当行の内部資料については省略した。
- 9. その他、参考にした外部資料は、巻末の「参考資料」記載のとおりである。